

2017 N-ONE OWNER'S CUP Rd.13

2017/9/23-24

スポーツランド SUGO (宮城県)

ML ヌヴォラーリ ET N-ONE

コンディション ドライ

<レースプレビュー>

2017年 N-ONE シリーズのレギュラー戦最終ラウンドはスポーツランド SUGO が舞台となります。SUGO は今年 2 度目の開催ですが初戦は諸事情により出場できなかったため、昨年の第 11 戦から約一年ぶりのレースとなりました。

現時点でシリーズランキング 7 位 (126Pt) でありトップからは 24Pt 差。ファイナルでの特別ポイントシステムを考えても、少しでも有効ポイントを増やしておくことが求められます。

シリーズ初戦のもてぎ戦から 7 月以降の十勝・もてぎと入賞の流れを切らずに結果を残せてはいるものの、前戦で見舞われたマシン不調の原因が特定できないまま SUGO 入りをすることとなってしまいました。

レギュラーシリーズ最終戦、さらにはスーパーフォーミュラ併催という事もあり、エントリー台数は 44 台と SUGO での過去最高台数を記録。リアルレーシングの金石監督もゲスト参戦とこれまでにない盛り上がりを見せていました。

大会前日に設けられた占有走行は通常通りの 30 分×2 本で終日ドライでの走行となりました。1 本目はマシンの感触を確かめつつ決勝に使用するタイヤ選定に時間を使ったためアタックラップは 1 周のみ。1 周を通して単独だったため飛びぬけたタイムではないものの上位で戦える手ごたえは掴んでいました。

また、セッションを通してこれまでと似た症状である中高速領域でのパワー不足が露見されたため 2 本目に向けプラグとオイル交換を行い、合わせてミッションオイルの油量も調整を行いました。

2 本目では上記変更による改善具合を確かめつつ、左足ブレーキと組み合わせた走り方を模索し、課題であった SP コーナーの脱出を 0.2 秒縮めることに成功。

最終的に全体の 6 番手で練習走行を終え、2DAY で行われる本戦に臨みました。



NUVOLARI



Winmax

<予選> **6位** Time : 2'00.917

昨日夜からサーキット周辺では雨が降っており、非常に湿度の高い朝を迎えた。天気は徐々に回復しているが路面はホコリの多い状況が、前クラスの走行を見て感じ取ることが出来た。路面温度も温まりだした 11 時 30 分、予選開始となり各車一斉にコースイン。

今季のタイヤの傾向から 1 周目しかチャンスはないため、最終コーナーでスリップストリームが使える間合いを考えてアタックラップへと入った。

セクター1では全体ベストをたたき出し、セクター2、3と自己ベストでつないで迎えた最終コーナー進入時、切っていたはずのVSAが介入してしまう。これによりアウト側へと大きく膨らみ前車から離れてしまう。1秒台を切ることは出来たがまさかの6番手。

5番手との差はコンマ1秒無いため再度アタックを狙うもクリアラップが取れず、そのままの順位で予選を終えた。

<決勝> **4位** Best Time : 2'01.788

昨日のジメジメとした天気からはうって変わり、秋晴れの下 10 時より決勝がスタートとなった。

スタートは下り坂を上手く使えるよういつもより回転を落とし気味にし、4コーナーで仕掛けるべくライン取りを組み立てていった。

しかし、トップ争いの混乱で3コーナーからブロックラインとなったため、ハイポイントでの勝負に切り換えた。狙い通り並ぶことは出来たもののその先のバックストレートで完全に前に出られてしまい6番手キープのまま1周目を終える。

上位6台がひとつのパックとなり4周が経過。前車のタイヤが徐々に厳しくなっているのが分かる。だが、このタイミングで横転車両発生によるSC導入となり残り周回数は2周。トップ争いが激しくなっている状況を考えつつ仕掛けるタイミングを探る。

最終ラップに入ったところでトップで混乱が起き、その瞬間で4位へとジャンプアップする。車両に若干のダメージを追いながらも後続を抑え2ポジションアップの4位でフィニッシュ、今季連続入賞更新を果たした。



NUVOLARI

Super Endurance Racing Oil
MIDLAND
L.M. SPEC.

Winmax

<レースレビュー>

自分の中で苦手意識の強い SUGO。少しでもライバルたちよりも走る時間を稼ぐため、走行会でのテストを設定したものの、体調不良のため参加を断念してしまいました。体調は万全の状態へと戻すことが出来ましたが、前戦モテギでの不具合の原因を解決できず、準備が慌ただしい中 SUGO 入りをしてしまったことが今回最大の敗因だと思っています。

思うように走れない状況ではありましたが、左足ブレーキの併用やコースを広く使って横 G を少なくする走り方が構築でき、引き出しを増やすことが出来ました。特に十勝や SUGO といったコース幅の狭いコースで苦手としていた、アウト側いっぱいまで使って車の向きを変えることに関してはひとつ壁を越えられたと感じました。

今回のレースを終え、マシンチェックをすると燃料系とターボに不調の原因があることが分かりました。最終戦を全力で走るためにも考えられる要因は全てつぶし込み、1年の締めくくりとして悔いのない良いレースが出来るよう準備を行っていきます。

最後になりますがレースを全面的に支えてくれた家族に感謝するとともに、サポートしてくださったヌヴォラーリの皆さまをはじめ、MIDLAND 様、Racing Garage K 中本様、宮本商会 宮本様、winmax 様、E-TECH 様、本当にありがとうございました。

次戦は 10 月にツインリンクもてぎで行われる第 14 戦ファイナルになります。2 年連続で最終戦をシリーズランキング 7 位で迎える事になってしまいましたが、昨年同様「失うものは何もない」と気持ちを新たに挑みたいと思います。ご支援・ご声援のほどよろしくお願いたします。



NUVOLARI

Super Endurance Racing Car
MIDLAND
LM SPEC

Winmax